

スーパーカミオカンデ見学ツアーアンケート（2016年5月26日実施）

このアンケートは参加者の考え方を統計的に判断するためのものである。その結果は赤字で記入しており、筆者の加筆は青で記入している。

1. 性別 ①男(14) ②女(10)

2. 年齢

①40才代(2) ②50才代(1) ③60才代(13) ④70才代(7) ⑤80才代(1)

3. 学生時代の主な専門分野は何ですか。(複数可)

①教育 ②理学 ③工学 ④建築 ⑤土木 ⑥農学 ⑦水産 ⑧政経 ⑨文学
⑩法学 ⑪その他

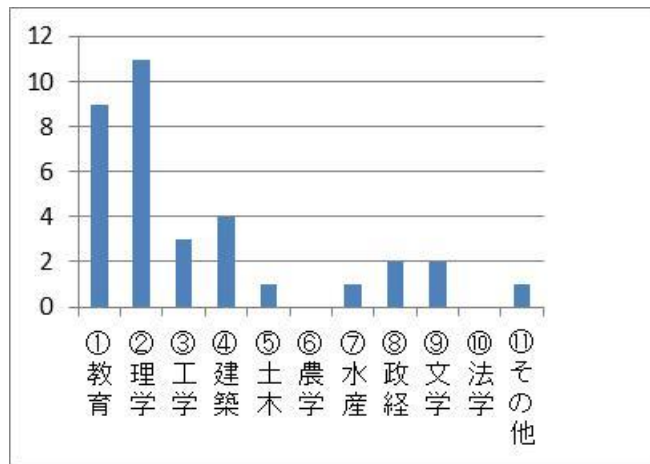


図1 参加者の学生時代の専門分野

4. これまで関わった主な仕事は何ですか。(複数可)

①教育 ②研究 ③金融 ④製造 ⑤商社 ⑥建築 ⑦土木 ⑧医療 ⑨福祉
⑩行政 ⑪その他

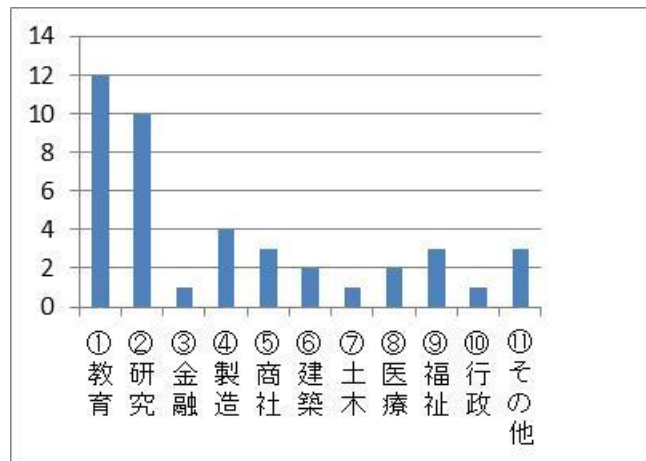


図2 参加者の職業分野

5. このツアー参加を決めた気持ちに一番近いのはどれですか。
- ① 機会があればスーパーカミオカンデを見学したいと思っていた。(17)
 - ② 自分の社会活動(仕事)にとって必要だと思った。(0)
 - ③ 単なる好奇心。(2)
 - ④ スーパーカミオカンデがノーベル賞受賞の対象になった装置であることを知った。(3)
 - ⑤ その他(1)
6. 見学後の感想で一番近いのはどれですか。
- ①期待以上だった。(10) ②期待通りだった。(13) ③期待はずれだった。(1)
7. 見学した施設に満足しましたか。
- ①十分満足した。(16) ②もっと見たいところがあった。(18)
8. あなたの今後の活動に活かされると思いますか。
- ①大いに活かされる。(15) ②自己満足の範囲内。(9) ③あまり意味がない。(0)
9. スーパーカミオカンデを大学生に見せて、科学者を志す者が増えると思いますか。
- ①はい(19) ②どちらともいえない(3) ③いいえ(1)
10. 国のビッグサイエンスに対する取り組みについて近い意見はどれですか。
- ①もっと予算をつぎ込んで進めるべきである。(10)
 - ②現在程度でよい。(6)
 - ③すぐに経済効果のないことに予算を使う必要はない。(0)
 - ④その他(1)
11. 宇宙(私たち)は何故存在するのでしょうか。科学的でも構いません。
- (1) 答えられません。神のみぞ知るとというのが近い答えです。
 - (2) 理由はないと思います。
 - (3) 宇宙のことは知識として知っていても存在を考えたことはありませんでした。地球上に命ある生物(細菌)が誕生し、進化し、その中で命が伝わったので、今私たちは存在し、それゆえ命ある生物がいる星として地球が存在し、宇宙も存在したものとする。
 - (4) 何か哲学を感じます。原理原則、宇宙から見た人間社会小さなことで戦い、悩み、憎しみ合い、一笑にされる思いです。人生、勝つことでなく歩み続けることです。頭のリレーション、
 - (5) 太陽系の中の地球が、生物が生きていくための条件が合っており、次第に進化して今の現在の状態であることが、この光、放射能などの影響で次第に衰退していくことも考えられるのではないかと心配する。
 - (6) スーパーカミオカンデを見学して思ったこと。自分を含めて、地球があることがきせきである。
 - (7) 宇宙はロマン
 - (8) それが知りたくて物理学・天文学を学びました。
 - (9) 地球の誕生からの進化を知るべきでしょう。
 - (10) 設問・質問に対する的確な Answer ではないが、「宇宙は人間に都合よく出来ている」との"人間原理"はゴウマンの極みと思う。
 - (11) 何故存在するかを考えたことがない。宇宙は最初にあったもので、そこから人間も色々なものも発生した。何故存在するかは考えたことがない。哲学的(宗教的)に言えば人類の更なる発展のために私

達は生まれてきたと思うべき？

(12) ???

(13) 何故でしょう？永遠のテーマです。

(14) ダークマターのお陰

(15) 一つの答えは永遠に出ないでしょう。

(16) 受身の学問の多かった私です。仕事を離れてつまみ食いのような学習を始めています。[地球のなぞ]の講義の中に地球の大気や水等も宇宙からの隕石を考えると説明が可能になるというのです。[宇宙や人間がなぜ存在するのか]哲学でしょうか。私は「なぜ」は考えられませんが、存在しているという事実から出発して「生きるものは亡びる」という結果に行きつくまで、少しでも充実した人生を送るべく満足(社会的生物である人として、何かに貢献して)感を得る努力をしたいです。

まとめ

このスーパーカミオカンデ見学ツアーは一般市民がビッグサイエンスに直接触れることで、科学の話題を豊富にして、それぞれの周辺に科学への関心が高まることを期待して企画した。しかし、企画者の個人的な関わりの範囲内での募集なので、参加者の多くが理系出身で教育関係者であり(図 1,2)、年齢も60代が中心であった(図 3)。当初は学生の参加を多く期待していたが、開催日が平日であり、授業期間と重なっていたため学生の参加はなかった。

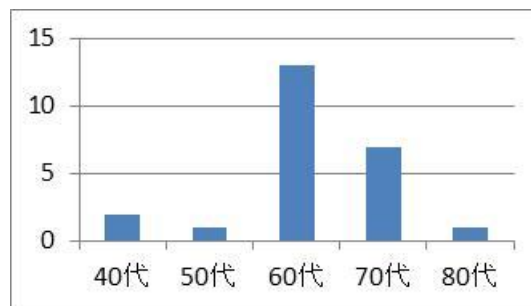


図 3 参加者の年齢分布

したがって、参加者のほとんどがスーパーカミオカンデの存在をよく知っており、見学の機会を期待していたことが伺える(図 4)。そして、見学の結果に満足したと思われる(図 5)。

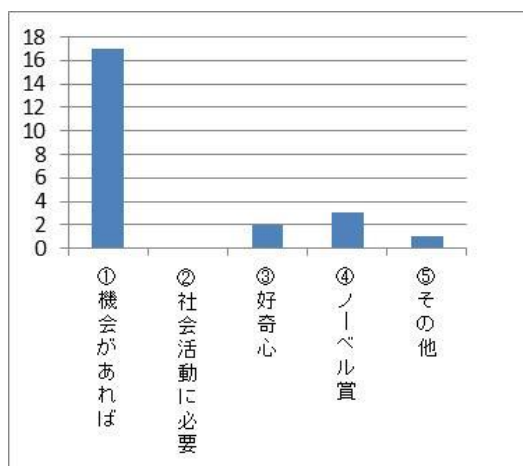


図 4 参加者の参加動機

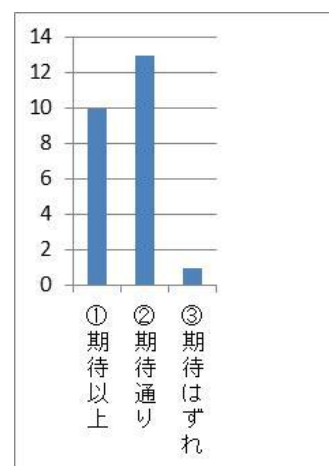


図 5 見学後の感想

スーパーカミオカンデを見学したことによって、参加者の科学についての話題が増え、周囲に科学リテラシー向上が期待される(図6)。また、参加者は大学生にスーパーカミオカンデを見学させることによって科学を志す者を増やすことが出来ると考えている。

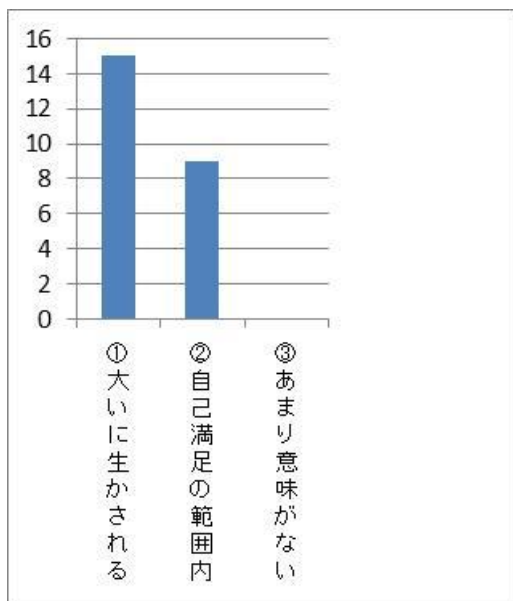


図6 参加者の活動に生かされる

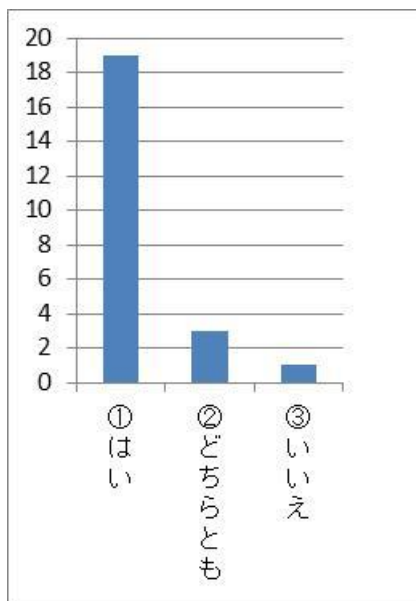


図7 大学生に有効か

設問11の自由記述の内容については読者の科学への関心の持ち方を考える上で参考にして頂くことを期待する。

文責：和田義親